

第7回豊前市立学校再編成準備協議会 全体会 会議録(要点)

日 時	令和7年3月28日(金) 18:30 ~ 19:30
場 所	豊前市役所3階 大会議室
出席者	<p>委 員 57名(欠席26名)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>事務局 7名 交通政策室 3名</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>傍聴者 0名</p>
	<p>1.開会 【省略】</p> <hr/> <p>2.教育長あいさつ 【省略】</p> <hr/> <p>3.会長あいさつ 【省略】</p> <hr/> <p>4.報告事項及び協議事項について</p> <p>(1) 総務部会</p> <p>1) 閉校式及び開校式について 閉校式及び開校式の基本方針を作成した。なお、参加者については引き続き事務局にて協議することとした。</p> <p>▶主な質疑、意見 ・なし。</p> <p>○豊前蔵春学園校歌の作曲者について 作曲者のプロフィール等を報告した。</p> <p>▶主な質疑、意見 ・なし。</p> <hr/> <p>(2) 通学部会</p> <p>1) 小学校の主要通学路について 現在の通学路を基に主要通学路を決定した。</p> <p>▶主な質疑、意見 ・なし。</p> <p>2) 小学校の通学方法(スクールバスの対象)について 「自宅から学校までの実距離が1.5km以上を対象」として検討を進めることとした。</p> <p>▶主な質疑、意見 ・なし。</p>

3) 中学校のスクールバス停留所までの安全対策について

学校からの要望箇所以外に追加する箇所は無しとした。

▶ 主な質疑、意見

- ・なし。

《議案1》 小学校の通学方法（スクールバスの対象）について

▶ 主な質疑、意見

- ・協議を進め対象者が決定したとして、実際に運用してみないとわからないこともあると思う。例えば夏の暑さが厳しく長い距離を歩かせられないとなった時等、その際はどうか対応するのか？

→部会では 1.5km を基準としてルートを検討していくことを承認いただいたところである。実際始まってから問題が起きることもあると思うので、その都度対応していかなければならないと考えている。

→今後の検討にあたっては、熱中症等や少人数で登校させない等、安全対策や児童への負担を配慮する必要がある。一方で、概算でバスが 26 台必要となっており、運転手の確保が難しいということで交通政策室とも協議をしているところである。そういった諸事情も勘案しながら検討していくため、1.5km の基準が伸びていくこともあり得る。

- ・他市町でスクールバスを導入した後、対象を変更したような事例はあるか？

→香春町にスクールバス関連の聞き取りをした。児童生徒へ乗車の指導をしたことはあるが対象の距離が短くなったとは聞いていない。

- ・豊前中央小の児童の約 70%がバス通学となるが、他市町でそのような現状の学校はあるか？

→近隣市町について把握はできていないが、全国的には、過疎が進んでいる地域の学校ではほとんどの児童生徒がスクールバスによる通学となっている例もある。

▶ 決定事項

- ・スクールバスの乗車基準について「自宅から学校までの実距離が 1.5km 以上を対象」とすることで検討を進める、との部会提案を全会一致で承認。

(3) 制服・PTA 部会

1) 識別バッチのデザインについて

識別バッチに校章デザインを採用する。また、導入は令和 8 年度からとし令和 7、8 年度に入学する生徒は全員着用とすることとした。

▶ 主な質疑、意見

- ・なし。

(4) 施設部会

前回協議会より新規の開催なし。

▶ 主な質疑、意見

・なし。

(5) 教育部会

前回協議会より新規の開催なし。

▶ 主な質疑、意見

・豊前蔵春学園について、外国語に特化することだがどのような計画か？

→合岩小では他の学校では行っていない1、2年生時からの外国語学習を行っているので継承する。さらに、未確定ではあるがALTを学校に長時間配備し、日常的に外国語に接することができる環境を整えたいと考えている。また、ICT機器を活用して外国語学習に活かせる環境整備をしている。来年度1年かけて学校側とも協議し、より具体的な検討を進める。

・見込みのある内容だと思うが、蔵春学園に通えば卒業までに英検〇級合格、のような数値的な目標を掲げてもらえたら良いと思う。

→検討していきたい。中学校卒業時に英検3級取得という指標があるが、全国平均で半数も達成できていないのが現実である。その平均よりも高い目標を掲げていけたらと考える。

・合岩小学校は現在でも複式学級になっており、今後も複式学級が増えていくのではないかと地元としても危惧している。豊前蔵春学園という校名の由来の蔵春園が横武にあるので、校区を横武まで広めるとか、特色ある学校づくりの再検討を希望する。

→学校を再編するにあたり、地元の歴史・文化を象徴するものを校名の由来とする学校が多い。蔵春園はたしかに認知度が低いですが、全国から延べ3,000名もの塾生が集まり地域をリードする教育を受けていた。そういったことを子どもたちにもしっかりと教え学び、蔵春という名前を受け継ぎ誇りを持った子どもに育てていきたいと考えている。豊前の輝く歴史の1ページを紐解いた時に、蔵春という名前を取り入れることは意義があるのではということで、この校名になった。

校区を広げることについては、協議の中では横武校区の皆様の意思としては望まれていなかったもので、そういった方々の意思も含め校区は現在のものを引き継ぎ、小規模特認校として存続の可能性を引き上げていく。ただし、将来的に人数がより減った段階では校区拡大の議論の余地はあると考えている。原則としては義務教育学校としての魅力を発信し、児童生徒を集めていきたい。

(6) その他

○校歌の言葉、フレーズの募集について

▶ 主な質疑、意見

・なし。

○新年度の委員継続について

役職名も含め変更があった場合は、保護者・教職員代表の方は学校から、地域代表の方は区長より事務局にご連絡いただきたい。

主な質疑、意見

・なし。

○その他

▶主な質疑、意見

・今年度、八屋中の1年生が不登校や保健室登校が多く、期待をもって入学したが中々通えない状況にある子がいる。合岩中に転校する生徒も複数名いるが、定員を超えてしまい転校できない生徒もいるのが現状だと聞いている。転校することは逃げではなく、楽しく学校に通いたいという明るい未来への一歩である。今後、豊前中学校ができることで人数の多い学校ではなく、比較的人数の少ない蔵春学園を選択する家庭が増えるのではないかと思う。工事が始まっているので今から教室を増やすことはできないが、空き教室を活用する等して、その都度対応してもらいたい。また、そもそもなぜ転校を選択しなければならなかったのかを考えていただき、学校全体でサポートしてもらえる環境を作っていただきたいと思う。

→現状は教育委員会としても把握しているところであり別で対応させていただくが、この会の趣旨とは違うので回答は差し控える。トラブルはどこでも起きていることであるので、それをしっかりと把握し保護者と連携して取り組まなければならないと考えている。小規模の学校では逃げ場がないので、クラス替えができる規模の学校が良いというのはそういった点にもある。ご指摘の点については、ある程度の人数がいて中々指導が行き届いていない面もあると思うので、しっかりと学校と連携して取り組んでいかないといけない。

5. 次回開催予定時期について

次回開催は5月頃を予定している。

6. 閉会